



平成27年4月30日

各位

上場会社名 池上通信機株式会社  
 代表者 代表取締役社長 清森 洋祐  
 (コード番号 6771)  
 問合せ先責任者 取締役上席執行役員経営管理本部長 青木 隆明  
 (TEL 03-5700-1113)

## 業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、平成27年4月30日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年5月9日に公表した業績予想および1株当たり配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	600	700	600	10.09
今回修正予想(B)	24,860	910	1,160	1,110	18.67
増減額(B-A)	△1,140	310	460	510	
増減率(%)	△4.4	51.7	65.7	85.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	25,731	766	1,204	1,091	16.87

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	600	700	600	10.09
今回修正予想(B)	22,110	450	910	910	15.31
増減額(B-A)	△1,890	△150	210	310	
増減率(%)	△7.9	△25.0	30.0	51.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	23,484	681	1,337	1,245	19.24

#### 修正の理由

売上高において、国内では、放送機器は堅調に推移する見込みですが、期待されていた産業システム機器が想定を下回る見込みです。一方、欧州地域における販売は好調を維持しましたが、期待されていた北米・アジア地域での販売が年度を通じて低調のまま推移したこともあり、連結、個別ともに当初の予想を下回る見込みです。

損益面につきましては、個別営業利益は調達コストダウン、生産効率改善施策等を推進した結果、売上原価率の低減化を更に促進させましたが、個別売上高の減収により当初の予想を下回る見込みです。一方、連結営業利益は欧州地域が好調に推移するとともに米国子会社ならびに国内子会社も営業利益を創出した結果、期初予想値を上回る見込みとなりました。また、為替が円安傾向に推移したことによる為替差益の計上が見込まれることから、経常利益ならびに当期純利益については、連結、個別ともに期初予想値を大幅に上回る見込みです。

注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年5月9日発表)	—	0.00	—	2.00	2.00
今回修正予想	—	—	—	3.00	3.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	0.00	—	2.00	2.00

修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要な責務であるという認識のもと、収益の状況や経営環境に対応した安定配当の継続を基本とし、企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案し、配当を行うことを基本としています。

当社グループは、強力に生産効率改善施策等を推し進め、営業利益段階では4期連続の増益となる見込みとなり、安定的に利益が得られる基盤が強化されて参りました。

このような状況を踏まえ、更に今回の上方修正を勘案し、平成27年3月期の期末配当予想につきましては、一株当たり2円と公表していましたが、株主の皆さまへの更なる利益還元を実施すべく、一株当たり3円とさせていただきます。

なお、期末配当につきましては、平成27年6月26日開催予定の第74回定時株主総会において付議する予定です。

以 上